



2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月14日

上場会社名 株式会社売れるネット広告社 上場取引所 東
 コード番号 9235 URL <https://www.ureru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤公一レオ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 植木原宗平 (TEL) 092-834-5520
 四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の連結業績(2023年8月1日~2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	580	—	△158	—	△166	—	△136	—
2023年7月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 △136百万円(—%) 2023年7月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	△41.08	—
2023年7月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2023年7月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年7月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	1,701	883	51.9
2023年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 883百万円 2023年7月期 一百万円

(注) 2024年7月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年7月期	—	0.00	—		
2024年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日~2024年7月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,150	—	45	—	12	—	10	—	2.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名) 株式会社オルリンクス、除外 一社(社名) ー
製菓
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期3Q	3,450,000株	2023年7月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	ー株	2023年7月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年7月期3Q	3,318,613株	2023年7月期3Q	3,000,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

当第3四半期におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大で緩やかな回復が見られました。

国内EC市場規模は2020年20兆円から2026年には29兆円に拡大（「ITナビゲーター2021年版」発表データ）が予想されており、国内外においてEC市場規模は急速に拡大しております。

一方、WEBマーケティング広告における「不当景品類及び不当表示防止法（景表法）」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」の規制は厳しさを増しており、より慎重な広告表現が求められる状況です。保守的な広告表現への見直しによって広告効率が悪化する場合がありますが、当社では、これらの法規制等を遵守しながら、A/Bテストを繰り返し、広告効率の向上に努めております。

このような環境の中で、当社は2024年2月には株式会社グルプス、株式会社オルリンクス製薬の2社の株式を取得、株式会社売れる越境EC社、株式会社売れるD2C業界M&A社の2社を新設子会社として設立するなど積極的に事業領域を広げ各事業に取り組んでまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は「2 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業)

D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業は、かねてより当社がサービス提供する、ネット広告/ランディングページ特化型クラウドサービス「売れるD2Cつくる」、マーケティング支援サービス「最強の売れるメディアプラットフォーム」に加えて、2024年2月より株式会社グルプスが提供する「運用型広告」、株式会社売れる越境EC社が提供する「越境支援」、株式会社売れるD2C業界M&A社が提供する「M&A仲介支援」を主軸として事業を展開しております。当第3四半期(2月～4月の3ヶ月)においては、「売れるネット広告社単体」の売上高は163,278千円、営業損失は13,692千円となっておりますが、第2四半期(11月～1月の3ヶ月)における売上高136,735千円、営業損失92,796千円と比較をしますと、四半期ごとの業績としましては回復傾向にあり、赤字幅は縮小しております。要因としましては、第2四半期に不正注文対策を実施したことによりマーケティング支援サービスの収益が大きく減少しましたが、第3四半期に入り段階的に回復をし、2024年4月単月におきましては黒字化するところまで復調したためでございます。

一方で、2024年2月より株式会社グルプスが提供する「運用型広告」につきまして、当第3四半期(2月～4月の3ヶ月)においては売上高は40,192千円、営業損失は29,457千円となっております。理由としましては、株式会社グルプスが提供するサービスは成果報酬型の「運用型広告」であり、自社が広告費を負担しながら広告運用を進め、広告効果を検証し、徐々に獲得効率を上げ売上を拡大していくものであるため、ビジネスモデル上、広告費が先行するものであり、第3四半期におきましては、金融・クリニック等の分野の開拓を進めるため広告費を投下し、広告検証を行う期間となっており、現時点においては費用が先行をしているためでございます。

また、売れる越境EC社・売れるD2C業界M&A社については第3四半期においては準備期間と位置付けており、各種開設等の手続きを進め、稼働に向けた準備は順調に進んでおります。先日発表させて頂いたとおり、米国amazon/米国eBayによるショップ開設が完了するなど、本格的な稼働は第4四半期からを想定しております。

この結果、同セグメントの第3四半期連結累計期間の売上高は536,177千円、セグメント損失は172,345千円となりました。

(D2C(ネット通販)事業)

D2C(ネット通販)事業は、2024年2月に株式取得いたしました、株式会社オルリンクス製薬で開発した化粧品等の販売を行う「自社国内D2C事業」を主軸としております。D2C(ネット通販)事業につきましては、初動で広告費

をかけず、SNSを活用した「ソーシャルEC戦略」によるモールでの販売を中心に事業を展開し、シートマスク「Koga0+」を中心とした売上が堅調に推移した結果、売上高は48,075千円、セグメント利益は14,924千円となりました。

以上の結果、売上高は580,498千円、営業損失は158,875千円となっております。なお、当第3四半期連結累計期間においては、一過性の費用として2023年10月23日に東京証券取引所グロース市場へ上場したことに伴う上場関連費用が14,738千円、および2024年2月に株式会社グルプス、株式会社オルリンクス製薬の株式を取得したことによる株式取得関連費用が23,400千円の合計38,138千円発生しており、経常損失は166,700千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は136,323千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,701,569千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が548,877千円、売掛金が228,896千円、建物が134,020千円、のれんが272,717千円、ソフトウェア仮勘定が124,741千円、未収消費税等が28,986千円、未収還付法人税等が16,940千円であります。ソフトウェア仮勘定は売れるD2Cつくーるの開発にかかるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、818,109千円となりました。主な内訳は、買掛金が186,600千円、長期借入金が357,742千円であります。長期借入金が発生した主な理由は、子会社を連結の範囲に含めたことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、883,460千円となりました。主な内訳は、資本金が198,370千円、利益剰余金が496,720千円であります。なお、自己資本比率は51.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の連結業績予想につきましては、2024年3月15日に公表の「2024年7月期通期単体業績予想の修正及び2024年7月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」に記載のとおり、通期の予想に変更はありません。

理由は以下3点となります。

1. 株式会社売れるネット広告社単体の2024年7月期の業績見通しについて

2024年7月期第3四半期の四半期純損失につきまして、2024年7月期第2四半期（2023年11月～2024年1月）の四半期純損失が65百万円であったことに対し、2024年7月期第3四半期は四半期純損失が7百万円となっており、四半期で比較し回復傾向となっております。

2024年7月期第2四半期（2023年11月～2024年1月）におきましては、マーケティング支援サービスにおいて、「不正注文の対策」に集中する施策を実行したため軟調に推移いたしましたが、繰り返しA/Bテストを行うことによりマーケティング支援サービスによる売上高が段階的に回復しており、2024年7月期第4四半期（2024年5月～2024年7月）も継続するものと考えております。

また、2024年7月期第4四半期（2024年5月～2024年7月）は大規模有料セミナーの開催による売上・各利益を見込んでおります。

2. 株式会社グルプスの収益構造について

前述しておりますが、当社子会社である株式会社グルプスが提供しております成果報酬型の運用広告について、自社で広告費を負担しながら広告運用を進行するため、ビジネスモデルの特性上、広告費が先行するものでございます。

2024年7月期第3四半期におきましては、金融、クリニック等の新たな分野の開拓を進めるため広告費を投下し検証を行っており、現時点においては広告費が先行している状況でございます。

3. 「中国越境EC事業」の事業譲受について

2024年5月13日公表の「「中国越境EC事業」の事業譲受に向けた基本合意書締結のお知らせ」にてお知らせい

たしましたとおり、「中国越境EC事業」の事業譲受に向けた基本合意書の締結が完了しております。2024年6月中の最終合意を目指しており、本件が成立し最終合意となった際には、2024年7月期第4四半期（2024年5月～2024年7月）から「中国越境EC事業」が組み込まれるためでございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	548,877
売掛金	228,896
商品及び製品	22,723
その他	80,723
貸倒引当金	△17,770
流動資産合計	863,449
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	134,020
工具、器具及び備品（純額）	20,732
リース資産（純額）	8,362
有形固定資産合計	163,115
無形固定資産	
のれん	272,717
ソフトウェア	81,468
ソフトウェア仮勘定	124,741
無形固定資産合計	478,927
投資その他の資産	
投資有価証券	100,000
その他	99,418
貸倒引当金	△3,341
投資その他の資産合計	196,076
固定資産合計	838,119
資産合計	1,701,569
負債の部	
流動負債	
買掛金	186,600
1年内返済予定の長期借入金	61,704
未払法人税等	141
その他	108,484
流動負債合計	356,930
固定負債	
長期借入金	357,742
リース債務	7,436
その他	96,000
固定負債合計	461,178
負債合計	818,109

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	198,370
資本剰余金	188,370
利益剰余金	496,720
株主資本合計	883,460
純資産合計	883,460
負債純資産合計	1,701,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	580,498
売上原価	229,288
売上総利益	351,210
販売費及び一般管理費	510,085
営業損失(△)	△158,875
営業外収益	
受取利息	5
受取手数料	5,034
保険解約返戻金	2,491
その他	394
営業外収益合計	7,926
営業外費用	
支払利息	1,012
上場関連費用	14,738
その他	0
営業外費用合計	15,751
経常損失(△)	△166,700
税金等調整前四半期純損失(△)	△166,700
法人税、住民税及び事業税	475
法人税等調整額	△30,851
法人税等合計	△30,376
四半期純損失(△)	△136,323
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△136,323

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2023年8月1日
至 2024年4月30日)

四半期純損失(△)	△136,323
四半期包括利益	△136,323
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△136,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2023年8月1日 至2024年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年10月23日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり2023年10月20日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式450,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ188,370千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が198,370千円、資本剰余金が188,370千円となっております。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数	4社
連結子会社の名称	株式会社グルプス 株式会社オルリンクス製薬 株式会社売れる越境EC社 株式会社売れるD2C業界M&A社

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の四半期決算日等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、株式会社グルプス、株式会社売れる越境EC社、株式会社売れるD2C業界M&A社におきましては四半期連結決算日と一致しております。なお、連結子会社の四半期決算日が四半期連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。

会社名	四半期決算日
株式会社オルリンクス製薬	3月31日 *1

*1 連結子会社の四半期決算日現在の財務諸表を使用しております。なお、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は、次のとおりであります。

報告セグメント	サービス名称及び内容等
D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業	(ネット広告/ランディングページ特化型クラウドサービス) 売れるD2Cつくる/売れるネット広告でざいん/売れるネット広告こんさる
	(マーケティング支援サービス) 最強の売れるメディアプラットフォーム/運用型広告
	(その他) 越境EC支援事業/M&A支援事業
D2C(ネット通販)事業	(D2C(ネット通販)) 化粧品・サニタリー用品・健康食品、機能性表示食品等のD2C 事業

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	D2C(ネット 通販)向けデジ タルマーケ ティン グ支援事業	D2C(ネット 通 販)事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	532,422	48,075	580,498	—	580,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,755	—	3,755	△3,755	—
計	536,177	48,075	584,253	△3,755	580,498
セグメント利益又は損 失(△)	△172,345	14,924	△157,420	△1,455	△158,875

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,455千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年2月6日に株式会社グルプス、株式会社オルリンクス製菓の2社の株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間においてのれんが272,717千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業の単一セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社オルリンクス製菓を連結の範囲に含めたことに伴い、D2C(ネット通販)事業を追加しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2024年2月6日開催の取締役会において、株式会社グルプス、株式会社オルリンクス製菓の2社の株式を取得して、完全子会社とすることを決議いたしました。また、同日付で株式譲渡契約を締結し、株式を取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社グループ
 事業内容：WEB特化型広告代理/運用代行
 資本金：5,000千円

被取得企業の名称：株式会社オルリンクス製菓
 事業内容：化粧品・サニタリー用品・健康食品、機能性表示食品等のD2C事業
 資本金：20,000千円

② 企業結合を行った主な理由

当社は、創業以来健康食品・化粧品業界を中心として、D2C(ネット通販)事業者向けにクラウドサービス及びマーケティング支援サービスを提供し、D2C(ネット通販)事業者が当社サービスを活用し、インターネット広告の費用対効果を改善し業績を拡大することを目的として事業を展開しております。

今後の当社成長のためには「既存サービスの強化・利便性の向上」「他業界への事業展開」及び「事業の多角化」「ノウハウの拡充」が重要と考えており、今般、「マーケティング支援サービスの強化」「他業界への事業展開」及び「D2C(ネット通販)事業領域参入による事業の多角化」「D2C(ネット通販)領域におけるノウハウの拡充」の実現を目的として株式会社グループ、株式会社オルリンクス製菓の全株式を取得することといたしました。

③ 企業結合日

2024年2月6日(株式取得日)
 株式会社グループ：2024年1月31日(みなし取得日)
 株式会社オルリンクス製菓：2023年12月31日(みなし取得日)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

株式会社グループ：2024年2月1日から2024年4月30日まで
 株式会社オルリンクス製菓：2024年1月1日から2024年3月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	320,000千円
取得原価		320,000千円

(注) 同日付で同一の相手より2社の株式を取得しており、2社の合計で取引価格を決定していることから、取得原価には2社の合計額を記載しております。

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 23,400千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

279,709千円

② 発生原因

株式会社グループの今後の事業展開によって期待される超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2024年6月4日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議しております。

1. 子会社設立の目的

日本のWebマーケティング業界は、急速に進展するテクノロジーの波により、人材の深刻な不足に直面し、Webマーケティング系フリーランスの需要が高まっております。株式会社矢野経済研究所が発表したデジタル人材関連サービス市場規模（デジタル人材育成・研修サービス、デジタル人材（IT技術者）派遣サービス、デジタル人材紹介サービス3市場の合計）によると、2022年度（2022年1-12月）は、前年度比10.8%増の1兆1,754億円と推計され、2024年度（2024年1-12月）には1兆3,555億円と引き続き成長が予測されております。

今後もWebマーケティング・デジタル人材の需給逼迫の継続や、情報通信事業者・SIerなどのIT系企業をはじめ、多くの産業・企業における業務・サービスのデジタルシフトやDX推進を背景とする積極的な投資により、Webマーケティング・デジタル人材需要は高まり、市場規模は拡大を維持していく見込みでございます。

その一方で、今後はフリーランス人材が急増し、競争が激化する「レッドオーシャン市場」と化す懸念もあり、Webマーケティング人材の継続的なスキル向上は課題の一つとなっております。

こうした需要や課題に早期に応えるべく、このたび、Webマーケティング系フリーランスの人材育成事業、eラーニング事業をメイン事業とする子会社として「売れるフリーランス育成社」を設立する事といたしました。

今後は「売れるフリーランス育成社」の事業活動により、Webマーケティング系フリーランスの人材育成を通じて社会問題の解決に貢献します。

2. 設立する子会社の概要

(1) 名称	株式会社売れるフリーランス育成社	
(2) 所在地	東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場 20階	
(3) 代表者の役職・氏名	大西択弥レガール	
(4) 事業内容	Webマーケティング系フリーランスの人材育成事業・eラーニング事業	
(5) 資本金	10百万円	
(6) 設立年月日	2024年8月1日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社売れるネット広告社：51% 大西択弥レガール：49%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が51%出資する子会社として設立します。
	人的関係	当社の役職員2名が当該会社の取締役を兼務する予定です。
	取引関係	該当事項はございません。